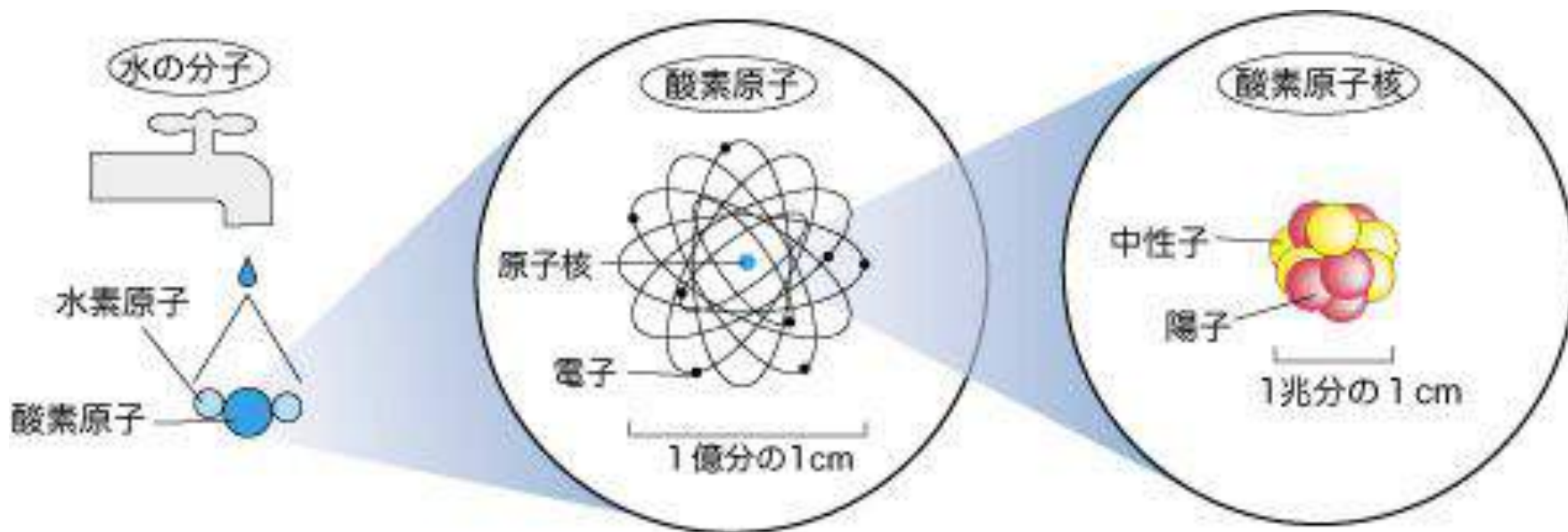


# 学術系クラウドファンディングで 拓く研究の未来

アカデミスト株式会社  
柴藤亮介

原子核:自然界に存在する有限量子多体系



(参考)理化学研究所仁科加速器研究センター <http://www.nishina.riken.jp/research/nucleus.html>

# 起業背景 - シリコンバレー訪問(2009年)

academist



# 起業背景 - 異分野交流会の開催(2011年)

academist



academist



プロジェクトを探す  
サポーターの方へ



プロジェクトを始める  
研究者の方へ



academistとは?  
初めての方へ



深海生物テヅルモツルの分類学的研究

専門分野：生物学 挑戦者：岡西政典

現在の支援総額： 295,500円

サポーター  
32人

達成率  
74%

残り  
42日

いいね! 51

Tweet 299

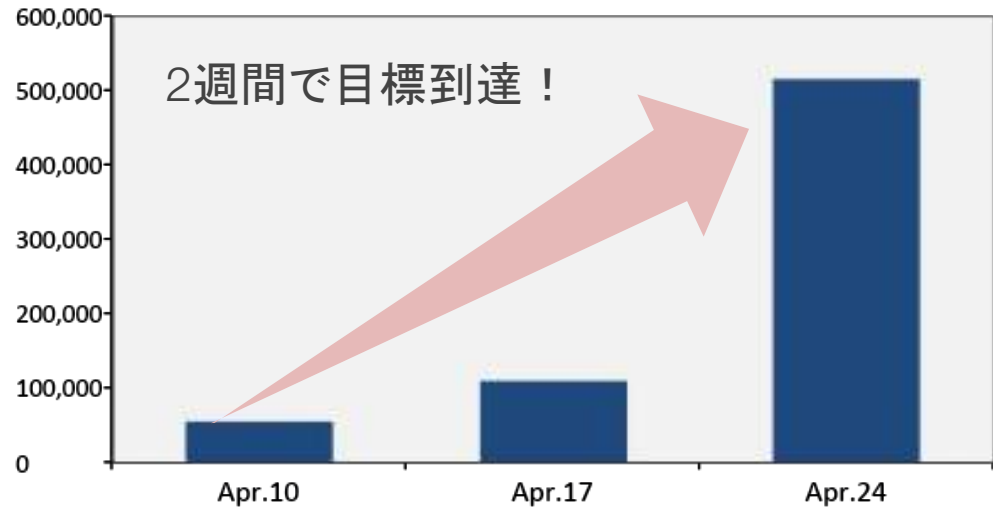
研究者の方へ

サポーターの方へ



京都大学瀬戸臨海実験所 岡西政典氏

達成金額(円)



## 深海生物「テヅルモヅル」——“役に立たない”研究でもクラウドファンディングで応援 新しい研究費獲得の形「academist」(1/2)

研究費獲得に特化したクラウドファンディングサイト「academist」がオープンした。「世の中の“役に立たない”魅力的な研究を伝えていきたい」——自らも物理学の研究者だったという運営者が目指すのは「研究のエンタメサイト」だ。

日本全国の「テヅルモヅル」ファンを集めることに成功！

研究費獲得に特化したクラウドファンディングを構想し始めたのは3年ほど前。  
 「研究費に絞ると狭すぎる、もっとジャンルを広げた方が」「自分の生活とかけ離れた他人の研究にお金を出す気になるのか」「そもそも面白い研究って何？」――事業構想を相談すると反対されることも多かったという。「いろいろ言われましたが、正直ピンとこなくて。自分は他人の研究の話聞くのがすごく面白いし応援したい気持ちになる。きっと同じような人はたくさんいるはずという確信があった」  
 (柴藤社長)



柴藤亮介社長

柴藤社長自身も物理学の研究者として博士課程まで進んだ。当時自分の研究に取り組みながら、対象に没頭することで狭い世界に閉じこもってしまうことに危機感を抱き、大学院生を対象とした「異分野交流会」を開催したのがこの事業を立ち上げるきっかけの1つになった。普段関わりのない分野の研究の話聞くことは刺激も多く、話し手にとっては当たり前のことでも門外漢にとっては驚きや発見がいくつもあることに面白さを感じたという。

「学生として研究しながら高校の非常勤講師をしていた時、教科書をなぞるよりも自分が挑

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1405/09/news032.html>

We wish to express our sincere gratitude to Dr. David Pawson of the Smithsonian Institution, National Museum of Natural History for his critical reading of the earlier manuscript and constructive comments. The material for this study was collected by R/Vs Tansei-Maru of JAMSTEC and T/S Nagasaki-Maru of the Nagasaki University. Thanks are also extended to Dr. Eri Katayama of the National Museum and Nature and Science and Dr. Yoichi Ezaki of the Osaka City University for their assistance in study and photography of the specimens with VHX D510 and VHX 1000, and Dr. Asuka Sentoku of the University of Queensland for her helpful comments on image processing and on preparation of figure plates.

This work was financially supported by grants from the Research Institute of Marine Invertebrates (Tokyo, Japan), from the Japan Science Society (Tokyo, Japan), from the Japan Society for the Promotion of Science (Research fellowships for Young Scientists No. 22506, Scientific Research (C) Nos. 22570104 and 25440226, Grants-in-Aid for challenging Exploratory Research No. 15K14589), and from the Director General of National Museum of Nature and Science, Japan. Financial support was also obtained from Hideki Aso, Takashi Hamaji, Akiko Iijima, Ayumi Irisawa, Masakazu Jimbo, Yuji Kamiya, Hideo Konami, Hiroyuki Kurokawa, Ayako Matsuda, Takamasa Mikami, Toshiharu Mitsuhashi, Morichika Miyazaki, Hironobu Muragaki, Haruyo Nakamura, Masaru Nakano, Kazunori Okubo, Yoshiko Ooiwa, Hirotaka Osawa, Tsuyoshi Sakamoto, Ryosuke Shibato, Emiko Shishido, Masataka Shishido, Hitomi Suto, Syotaro Suzuki, Yumeko Taguchi, Yuki Tokuda, Hiroko Uchida, Chie Yamaura, Koga Yohei and Yuki Yoshimine, via 'academist', crowd funding site for scientific research.

事例①: ゼロイチ研究を進める研究費として

カミナリ雲からの謎のガンマ線ビームを追え！

冬の前線雲からやってくる冬の前線雲を複数の検出装置で待ち受ける。

私達は天然の加速器とも言われる雷雲の謎を解くために、非常に強力な冬の雷雲がやってくる日本海側に、

達成率 160%      サポーター 153人      残り時間 終了

支援総額: 1,600,014 円  
目標金額: 1,000,000 円

募集期間は終了しました

⇒ 科研費不採択 → CF成功 → 研究進展 → 科研費採択でゼロイチ研究を加速！

<https://academist-cf.com/projects/16>

natureに掲載され **Physics World's Top 10 Breakthroughs** に選出！



This is a screenshot of the article page on the Nature website. The top part has a red header with the 'nature' logo and 'International journal of science'. Below that, there's a light blue bar with a color-coded bar and the text 'Altmetric: 1130 Citations: 1' and a 'More detail &gt;&gt;' link. The article title is 'Photonuclear reactions triggered by lightning discharge'. The authors listed are Teruaki Enoto, Yuuki Wada, Yoshihiro Furuta, Kazuhiro Nakazawa, Takayuki Yuasa, Kazufumi Okuda, Kazuo Makishima, Mitsuteru Sato, Yousuke Sato, Toshio Nakano, Daigo Umemoto &amp; Harufumi Tsuchiya.

⇒ イノベーティブな研究アイデアは**ボトムアップ** から生まれる

## 事例②: 臨床研究で柔軟に使える研究費として


心臓手術後の心房細動を抑え患者さんの負担を減らしたい！

</> 埋め込み

fシェア

ツイート



新宮康栄   
北海道大学、講師

支援総額: 1,072,600 円  
目標金額: 800,000 円



達成率  
134 %



サポーター  
67 人



残り時間  
終了

募集期間は終了しました

⇒ 臨床研究をサポートする公的資金は限定的で、思うように研究が進まない

<https://academist-cf.com/projects/65>

事例③: 学生研究チームの研究費として

「長生き」大腸菌をつくる！

成功  
Kyoto



🔗 埋め込み    📱 シェア    🐦 ツイート



石橋凌平  
京都大学、学部2回生

支援総額: 605,700 円  
目標金額: 400,000 円

📊	👥	🕒
達成率	サポーター	残り時間
151 %	63 人	終了

募集期間は終了しました

⇒ 合成生物学の世界大会に参加するための登録料・渡航費を募り、**金賞**を受賞！

<https://academist-cf.com/projects/306>

東海大学 × academist 👉 2021年より継続的にプロジェクトを公開

東海大学について

東海大学は1942年に学園を創立。翌1943年静岡県清水市（当時）に、東海大学の前身である航空科学専門学校を開設したことに始まります。その後1946年に旧制大学令により東海大学が認可されました。当時の文部省に提出された大学認可申請書には、人文科学と自然科学の融合による確固たる歴史観、国家観、世界観を把握せしめるとあります。これが本学の「文理融合」の教育理念となっています。創立者松前重義が掲げたこの建学の理想、建学の精神に基づき、知識偏重教育を取らず幅広い視野と柔軟な発想力を持つ人材の育成を目指しています。



<https://academist-cf.com/organizations/tokai>

東海大学 × academist 👉 支援者の声を聴きながら仕組みをUpDate

P22 RA協議会 第9回年次大会

## 社会と大学で研究を支える！ クラウドファンディングを活用した研究費獲得の効果と課題

桑田 晴香・横田 秀和 東海大学病院本部病院運営企画室  
アカデミスト(株)  
阿部麻衣子・柴藤 亮介

東海大学社会連携機構  
クラウドファンディング型社会連携補助計画

※クラウドファンディング型社会連携補助計画

**学内公募**

- ・学内に広く公募実施
- ・審査を行う。必要経費を決定

↓

**CF実施**

- ・（必要経費の6%、CF手数料）
- ・CFにての集金を達成した課題が  
最終的に研究費

↓

**研究実施**

- ・CF目標額と達成した学内集金  
を総額として実施
- ・達成して未達と執行

必要経費 100万円

CF目標額 10万円 (手数料)	大学集金 90万円	
CF目標額 10万円 (手数料)	大学集金 30万円	CF目標額 20万円

成立 (採択)

CF目標額と大学集金を合計して執行  
執行期間あり (半達まで)

研究費目で受入  
執行期間なし

不成立 (不採択)

CF目標額  
90万円未達

社会と大学で研究支援！  
研究をシブシブに！

研究費獲得・上げ  
社会が応援する研究って！！

2021年度 2件  
2022年度 4件  
2023年度 2件

全件目標額達成・CF成立  
達成率 104%~373%

1. CF実施データ  
達成までの日数、最終獲得額、サポーター数、ページ閲覧者数、サポート毎の金額・日給 等

2. アンケートデータ：Microsoft Forms  
期間：2023/7/7-18 (12日間) 対象：8チャレンジのサポーター計685名 回答：190名  
質問：チャレンジとの関係性、チャレンジを知った媒体、寄付を行うまでの検討期間  
支援のきっかけ、リターンへの評価、東海大学への印象変化 等

## 大学・研究機関 × アカデミストの取り組み

### 【アカデミスト】

- 特設ページの作成・公開
- プレスリリース
- オンライン勉強会の開催など

### 【大学・研究機関】

- 研究者に対するチャレンジの促進
- プロジェクトの宣伝活動

提携実績

21 大学・研究機関

(2023年3月現在)



日本生活学会 × academist 🍌 多様な大学の研究者がCFにチャレンジ



日本生活学会 50周年記念事業 知の無尽講をつくろう

日本生活学会は、過去、現在、未来にわたり生活についての理論的・実証的研究と実践を促進し、あわせて体系化、総合化をはかることを目的とする学会です。私たちの当たり前の「生活」を深く研究していこうと、50年前の1972年9月29日に今和次郎、竹内芳太郎、梅棹忠夫、川添登、吉阪隆正、加藤秀俊、宮本常一、林健二郎ら、錚々たるメンバーによって設立されました。学会員は生活に興味がある研究者や市民が集まっており、広く、建築や都市、家政学、食研究、福祉、教育、社会学、民俗学、文化人類学、地理学、情報研究などの分野にわたります。400名程度の小さな学会ですが、年に一度の学会大会のほか、さまざまな研究交流の機会をつくって活動を続けています。



創設50年を記念して、学会会員による研究のクラウドファンディングの仕組み「生活学会 知の無尽講をつくろう」を始めました。これは学会員から挑戦的なプロジェクトを募り、みなで知恵とお金を出し合ってそれを応援しよう、というもので、知恵があつまり、それが相互に循環していくような取り組みです。日本生活学会が推薦する、生活学の次の10年を創っていくような、そして私たちのこれからの新しい生活を切り開いていくような、意欲的な研究プロジェクトを集めました。

静岡県 × academist 👉 2022年より継続的にプロジェクトを公開

academist

academist とは? 研究者の方へ 大学・研究機関の方へ 企業の方へ ログイン 新規登録

静岡県

プロジェクト数 8

サポーター数 499 人

支援額合計 7,048,434 円

静岡県について

静岡県では、県の政策課題に的確に対応しつつ、新たな価値の創出や社会課題の解決を図り、本県産業の持続的な発展や安全・安心な県民生活を支えるため、農林、畜産、水産、工業、環境、衛生などの分野で特色ある研究開発を行っています。

研究開発や技術支援、調査研究などの業務を通じて、農林水産業や工業等の地域産業の振興、公衆衛生や生活環境等県民生活の質の向上に貢献できるように、農林技術研究所、畜産技術研究所、水産・海洋技術研究所、工業技術研究所及び環境衛生科学研究所の5つの研究所を設置しています。



<https://academist-cf.com/organizations/shizuoka>

静岡県 × academist 👉 県庁広報グランプリに選出！

## クラウドファンディング使い資金調達 静岡県広報グランプリ

2023.2.7

静岡県職員の広報発信力向上を目指した「県庁広報グランプリ」の最終審査会がこのほど、県庁で開かれ、経済産業部産業イノベーション推進課や県研究所によるクラウドファンディングでの研究資金調達の取り組みがグランプリに輝いた。

45件の取り組みの中から、最終審査に残った3組の代表者が活動や成果を発表した。

同課などは県内研究機関とクラウドファンディングに初挑戦した。研究への理解促進と研究費拡充を目指し、生活に身近な4テーマを掲げた。各研究所も分かりやすい言葉や表現を使ってSNSで発信し、3テーマで目標金額に到達した。審査員は「研究者が自らの語る言葉を持つことは大切」「県に最も必要な共感や理解が得られた」と評価した。

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1189850.html>

Experiment × academist 👉 5年越しの連携

**PR TIMES** プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | ス

## アカデミスト、米国の学術系クラウドファンディングサイト「Experiment」と協力覚書締結で海外展開を加速

アカデミスト株式会社

🕒 2019年8月27日 10時00分

336				
いいね!	ツイート	はてな	素材DL	その他
シェア				

アカデミスト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：柴藤亮介、以下アカデミスト）と米国発の学術系クラウドファンディングサイトを運営するExperiment.com, Inc.（共同創業者：Cindy Wu、以下Experiment）はこの度、研究費獲得を目的としたクラウドファンディングを連携して推進していくための協力覚書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000033082.html>

Experiment × academist 👉 クラファン文化は日本の方が根付きやすい？

experiment

Search Projects, Topics & Lab Notes

Discover

Start a Project

Sign in

## Searching for new deep sea brittle star species in museum specimens

By Masanori Okanishi

Backed by Takamasa Mikami, SYOTARO SUZUKI, Ryosuke Shibato, Yuji Kamlya, Reriuria, John Pollinger, Hitomi SUTO, MORICHIKA YAMAKAWA, Eriko Takaya, Wewin Tjiasmanto, and 28 other backers



**\$4,479**

Raised of \$4,450 Goal

**100%**

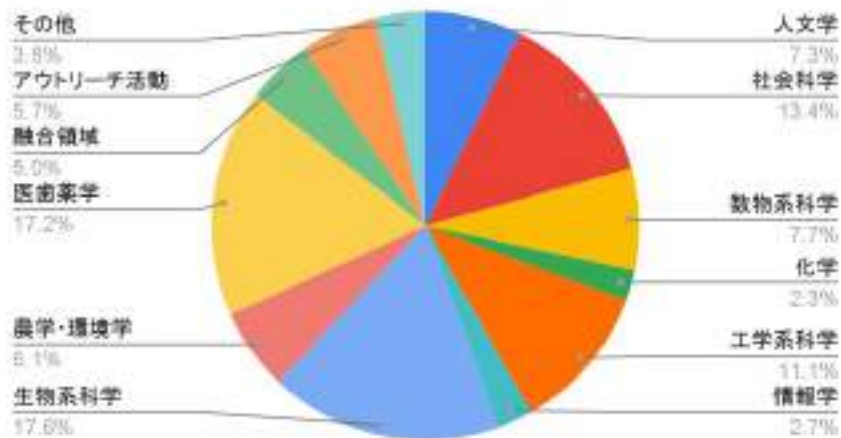
Funded on 10/11/19

Successfully Funded

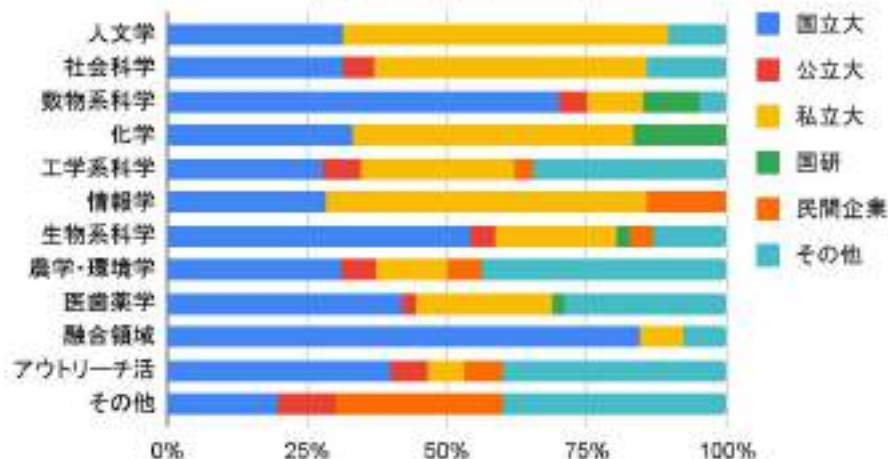
How does this work?

<https://experiment.com/projects/searching-for-new-deep-sea-brittle-star-species-in-museum-specimens>

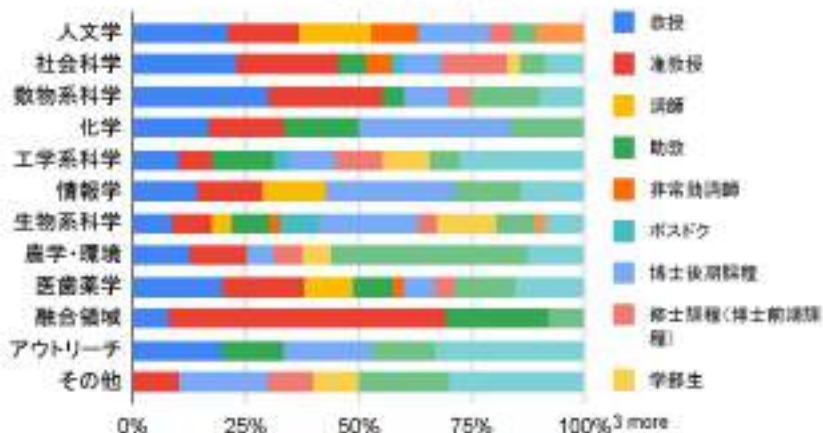
### 分野別



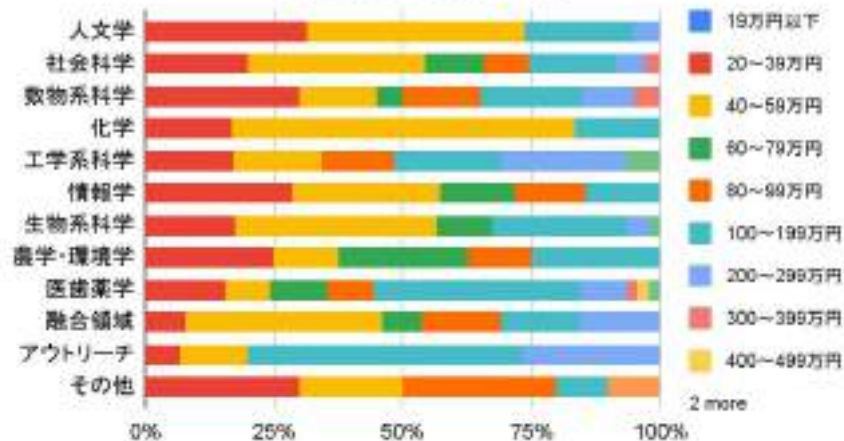
### 分野別×所属分類



### 分野別×肩書



### 分野別×目標金額



公的資金と学術系CFは**補完的**であり、後者の**金銭面以外の効果**が Open academia の実現に重要

	公的資金	学術系クラウドファンディング
資金源	政府・地方自治体	個人・企業の支援者
申請プロセス	詳細な申請書	研究Visionを示したWebページ
審査	ピアレビュー	個人や企業の判断
金額の規模	100万～1億円	100万～1000万円
獲得成功率	30%未満	90%以上
使用時の自由度	低い	高い
ステークホルダーとのネットワーク形成	拡大しにくい	拡大しやすい
研究者のマインドセット	内向的に	外向的に

[https://www.istage.jst.go.jp/article/jsrpim/39/3/39\\_281/article/-char/ja](https://www.istage.jst.go.jp/article/jsrpim/39/3/39_281/article/-char/ja)

ステークホルダーとの交流から研究ニーズに気づき起業に続く事例が増加

フタホシココロギ食用化プロジェクト！

2016年4月：academist で[資金調達を実施](#)

2019年5月：[株式会社グリラス](#)を創業

2022年2月：シリーズAで[2.9億円の資金調達を実施](#)

膵臓がんの「がん幹細胞」をピンポイントで退治！

2018年5月：academist で[資金調達を実施](#)

2021年8月：[Red Arrow Therapeutics 株式会社](#)を創業

2021年12月：Seed Roundで[0.8M USDの資金調達を実施](#)

素材の力で未来を創る！ - 大学発スタートアップ創業への挑戦

2022年11月：academist Prize 第2期に参画

2023年4月：academist で[資金調達を実施](#)

2023年6月：[株式会社マテリアルゲート](#)を創業

A young boy with short dark hair is shown from the chest up, looking down and resting his chin on his hand in a thoughtful pose. He is wearing a blue t-shirt with some white text that is partially visible at the bottom. The background is a plain, light-colored wall. Overlaid on the image is Japanese text in a clean, sans-serif font.

academist Crowdfunding では  
サポーターが研究者の研究活動を  
**継続的に**知ることが難しい

**PR TIMES** プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

## アカデミスト、月額課金型のクラウドファンディングサービス「academist Fanclub」をリリース

大学院生限定でチャレンジャーを募集！

アカデミスト株式会社

🕒 2018年11月5日 12時38分

303				
いいね！	ツイート	はてな	素材DL	その他
シェア				

日本初の学術系クラウドファンディングサービス「academist」を運営するアカデミスト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：柴藤亮介、以下 アカデミスト）は11月5日、月額課金型のクラウドファンディングサービス

「academist Fanclub」を開始いたしました。また、academist Fanclubの第一弾プロジェクトとして、アカデミスト自体の取り組みにご賛同いただける方々の募集ページをリリースしました。今後は、大学院生限定（学振取得者可、年齢不問）でacademist Fanclubへのチャレンジャーを募集してまいります。人文・社会科学系から理工学系まで、あらゆる分野の研究の未来を担う大学院生の応募をお待ちしております。

academist

academist とは?

研究者の方へ

大学・研究機関の方へ

企業の方へ



ログアウト

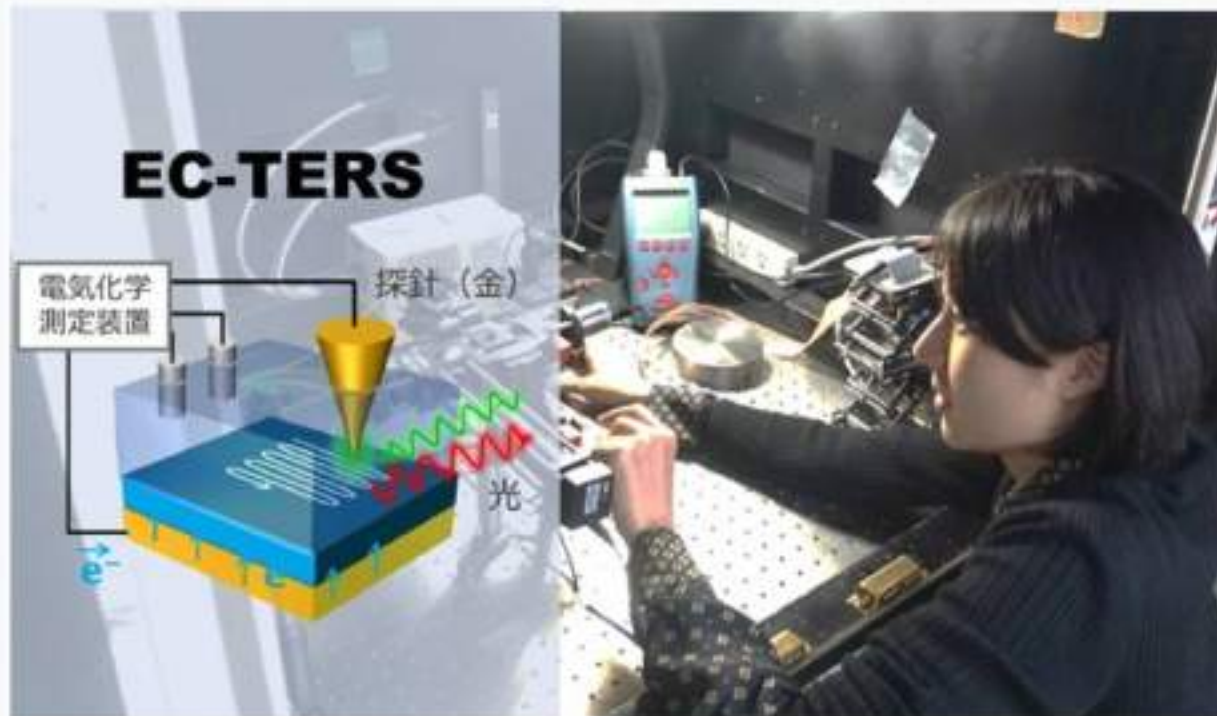
## 単一分子を追える装置で化学反応のメカニズム解明に挑む!

</> 埋め込み

f シェア

ツイート

月額支援型



<https://academist-cf.com/fanclubs/204>



小林柚子

東京大学、博士後期課程

挑戦期間

2020/11/18 - 2023/09/30

最終活動報告

3週間前

活動報告  
36回

サポーター  
49人

経過時間  
2年前

支援する

博士号取得までの研究活動(≠ 研究進捗)を発信し、サポーターを募集

📄 プロジェクト詳細

💬 コメント 59

📄 活動報告 36



## 学会発表/福井への研修旅行レポ

2本目の論文も大体の形ができてきたり、博士論文のタイトルを決めて提出したり...9月の修了に向けて着々と準備を進めています。進路については、相変わらず色々な岐路に立たされている感覚で落ち着きませんが、方針が見え次第皆様にご

[もっと見る \(サポーター限定\) >](#)

👤 小林柚子 曲 2023/03/20 16:20:29



## 論文を書いています！/クラファン発表解説！

今月の活動報告は  
論文を書くぞ！

クラウドファンディングのゼミ発表解説

**リターンは毎月の活動報告 (≠ 研究の進捗報告) → いった研究者像**

A young boy with short dark hair, wearing a blue t-shirt, is looking down and to the side with a thoughtful expression. His right hand is resting on his chin. The background is a plain, light-colored wall. The text is overlaid on the image in a black, sans-serif font.

academist Fanclubでは  
支援総額を大きくすることが難しい

**PR TIMES** プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

## アカデミスト、若手研究者向けの研究費支援プログラム「academist Prize」の応募受付開始

月額支援型クラウドファンディングのチャレンジャーへ総額100万円の賞金

アカデミスト株式会社

🕒 2021年6月29日 14時00分

0				
いいね!	ツイート	はてな	素材DL	その他
シェア				

アカデミストはこの度、若手研究者を対象とした研究費支援プログラム「academist Prize supported by 日本の研究.com」を開催いたします。これに伴い、6月29日より応募受付を開始いたします。本プログラムの選考に通過した若手研究者は、academistの月額支援型クラウドファンディングへのチャレンジ権を得ることができ、クラウドファンディングプロジェクトの注目度合いによって最大100万円の追加支援を受けることができます。

30年後のミライが、  
ここから生まれる。

academist  
Prize

プロジェクト期間

2021年9月1日  
～ 2022年8月31日

賞金総額

100 万円

supported by



<https://prize.academist-cf.com/>

CHALLENGER

academist Prize  
supported by 日本の研究.com  
採択プロジェクト



コンピュータを駆使して低次元トポロジーの壁に迫る!

佐野 悠人

👍 56人



文化的アイデンティティは個人の心理にどう影響する?

前田 紗希

👍 14人



感動は脳のギャップ閉えから生まれる!? 認知科学x複素つきしめじで心をつかむメカニズムに迫りたい!

今泉 拓

👍 37人



微生物の力で、2050年の持続可能な農業を支える!

安部 真一郎

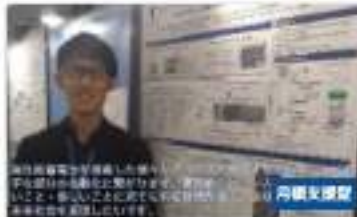
👍 48人



DNAから生物の老化機構を解明し、健康長寿社会を実現したい!

坂本 光士郎

👍 15人



究極的にエネルギー密度を高めた蓄電池を生み出したい!

引藤 竜哉

👍 10人



産婦の発達研究を通して子どもが生きやすい社会に!

齋藤 健一

👍 38人



生活習慣病の予防に繋がる健康機能性カロテノイドを海洋から発掘する!

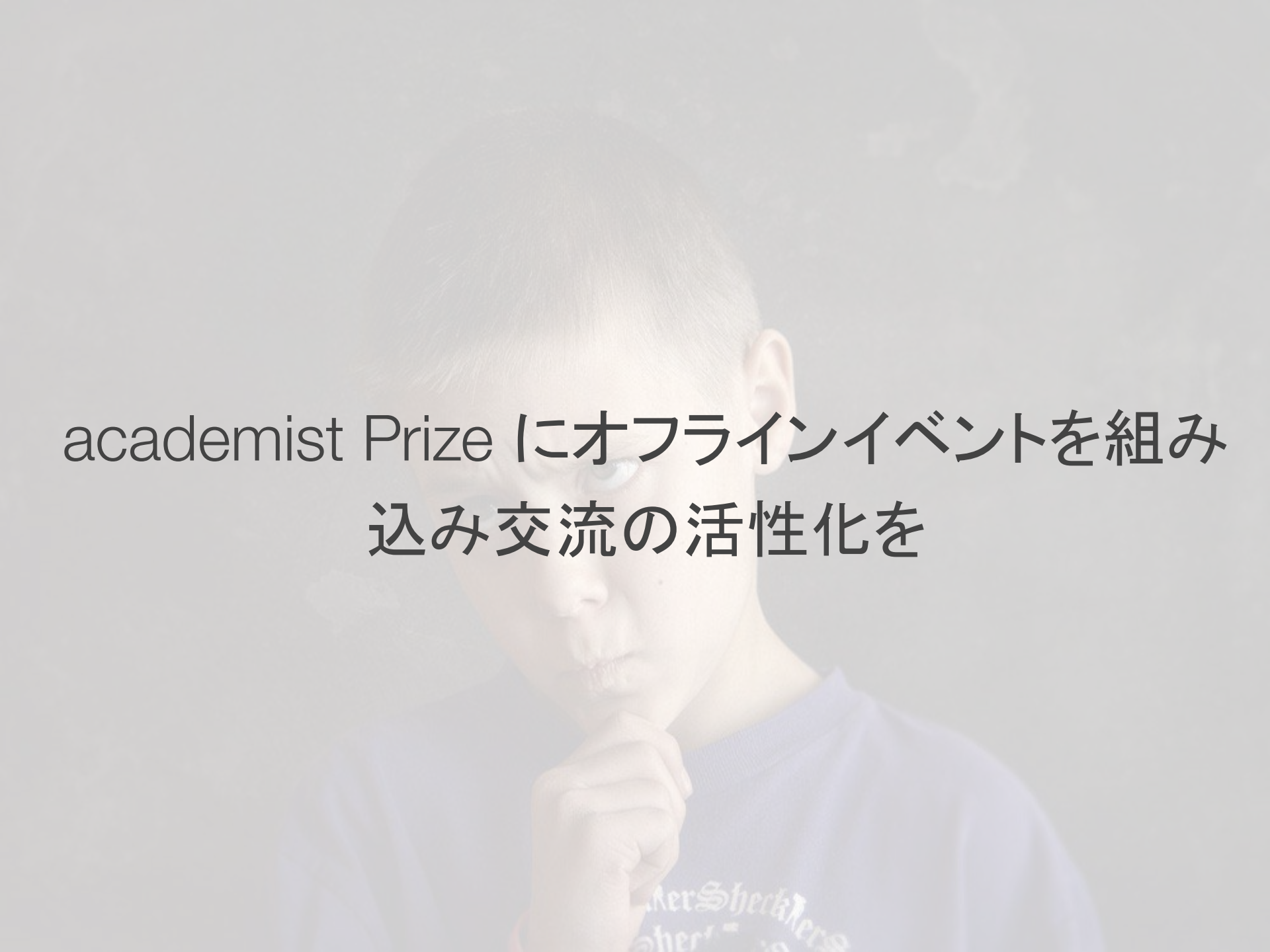
高谷 真己

👍 9人

## ■ リアルクラウドファンディングイベント(2022年8月31日)

200名近い研究者・大学院生社会人が集いアカデミスト賞(50万円)の配分を決定



A young boy with short dark hair is shown from the chest up, looking down and to the left with a thoughtful expression. His hand is resting on his chin. He is wearing a blue t-shirt with some white text that is partially visible at the bottom. The background is a plain, light-colored wall. The overall image has a soft, slightly faded appearance.

academist Prize にオンラインイベントを組み  
込み交流の活性化を

- 若手研究者12名による academist Prize 第2期が始動！



■ 企業賞発表イベント - エマージングテクノロジーズ賞(2022年12月14日)



academist Prize 2期生がCIC Tokyoに集結



エマージングテクノロジーズ様より賞金 10万円が贈呈



国立情報学研究所・宇野氏講演



イベントはハイブリッドで実施し、合計 100名以上の研究者・関係者が参加

■ アカデミスト賞発表イベント(2023年2月27日)



テーマは「原点とビジョン」



参加者どうしてポスター発表を実施



パネルディスカッションの様子



100名弱の参加者による異分野交流

アカデミスト賞(50万円)のうち40万円をQuadratic Fundingの方法で、10万円をオーディエンス賞として配分。新たな研究資金の配分方法をコミュニティで模索しています。

■ 企業賞発表イベント - 日本の研究.com 賞、Bitmeister賞(2023年5月24日)



テーマは「基礎研究の社会実装」



BiImpact様、Bitmeister様より賞金10万円が贈呈



博士起業家3名の講演・パネル討論



コロナ禍もひと段落し、過去最大級の盛り上がり。



## ■ アカデミスト賞発表イベント(2023年8月30日)



テーマは「30年後の未来」



これまでの30年、これからの30年を議論

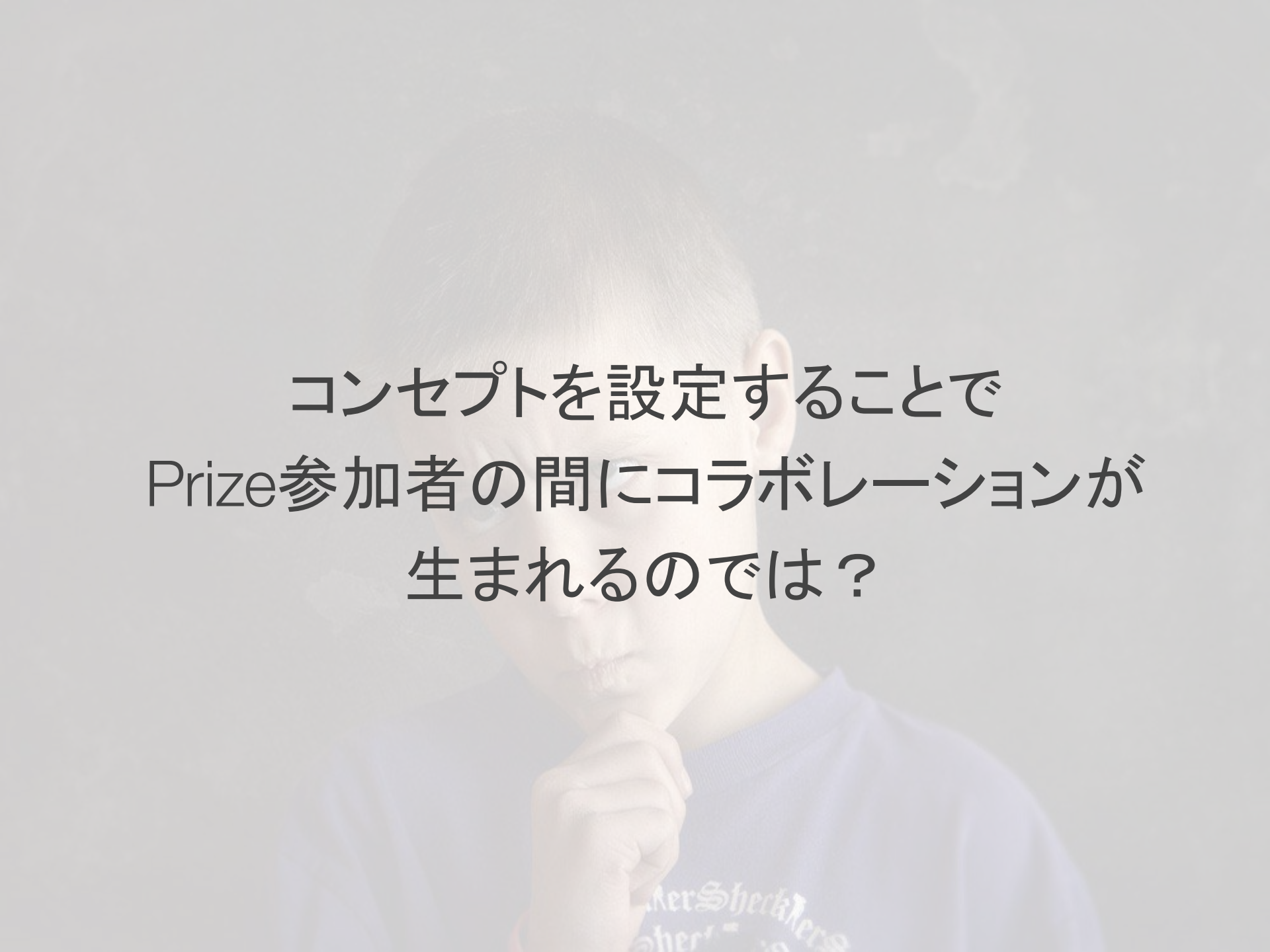


下半期アカデミスト賞が決定！



100名弱の参加者による異分野交流

アカデミスト賞(50万円)のうち40万円をQuadratic Fundingで、10万円をオーディエンス賞として配分。新たな研究資金の配分方法をコミュニティで模索中。

A young boy with short dark hair is shown from the chest up, looking down and resting his chin on his hand in a thoughtful pose. He is wearing a blue t-shirt. The background is a soft, out-of-focus grey. Overlaid on the image is Japanese text in a clean, black, sans-serif font.

コンセプトを設定することで  
Prize参加者の間にコラボレーションが  
生まれるのでは？

■「AI×○○学」で未来をつくる



第3期では「AI×○○学」をテーマに、それぞれの研究分野の研究推進方法がどのように変化しているかを定期的に共有し、ステークホルダーと共に考え、研究を加速する機会をつくります。

- オンラインイベント「研究者と描くAI社会の未来設計」開催(2023年8月25日)

**研究者と描く AI社会の未来設計**

academist

第1部：AIのつくる未来  
川原 圭博 氏 (東京大学)

第2部：「AI×〇〇学」の現在  
橋本 幸士 氏 (京都大学)

第3部：AIと共存する社会  
(富士通株式会社 AIトラスト研究センター)  
中尾 悠里 氏

質疑応答・パネルディスカッション

Zoom

**5年先を見据えた産業界とアカデミア(国研・大学)の役割分担**

最近1~2年のビジネス動向は民間企業を動機づけしつつも、国研・アカデミアはサイエンスに打ち組み国家の知識基盤を構築する必要がある。

ありうる未来  
望ましい未来  
現実の高い未来  
望ましくない未来

1-2年先で起ること  
3-10年先で起ること

産業界  
国研・アカデミアがサイエンスにおけるAIを  
開拓し、産業界に構築し

- 若手研究者8名が「AI×○○学」をテーマに研究活動を発信(2023年9月5日～)

academist Prize 第3期

AI×○○学で未来をつくる

9/5 TUE 10:00 プロジェクト開始

The banner features a vibrant, abstract illustration with a central figure and various scientific symbols like a DNA helix and a microscope. On the left, there are eight circular portraits of the participating researchers.



✓ 研究活動をオフラインのイベントで発信

✓ 研究活動を日々オンラインで発信し1年間にわたりサポーターを募集

✓ サポーター数に応じて追加で研究資金(総額100万円)を獲得

世界最短の詩、俳句を通して、美しさの多様性と核心を解き明かしたい

世界最短の詩、俳句を通して  
美しさの  
多様性と核心を  
解き明かしたい

檀創仁平 博士後期課程2年

2022/09/06 - 2024/08/30

5日間

12人

1年間

大観する

The screenshot shows a social media post with a bird image and a text overlay. It includes a profile card for a researcher and a 'View all' button.

- 若手研究者8名が「AI×○○学」をテーマに研究活動を発信(2023年9月5日～)



第3期では年3回のPrize発表イベントを実施



第4期のPrize発表イベントは2024年12月中旬、2025年4月下旬、2025年8月下旬に開催予定です。



「さわかみ投信賞」に京都大学の櫃割氏が選出

■ 若手研究者を投票で応援！ -100万円配分ピッチコンテスト(2024年8月30日)



👉 Quadratic Funding で賞金総額100万円が参加者の投票により決定！

A young boy with short dark hair, wearing a blue t-shirt, is shown from the chest up. He has a thoughtful expression, with his right hand resting on his chin. The background is a plain, light-colored wall. The text is overlaid on the image in a black, sans-serif font.

academist Fanclubでは  
支援総額を大きくすることが難しい

## ■ クリエイターが「1,000 True Fans」を持つ時代

## 1,000 True Fans

< previous    next >

*This is an edited, updated version of an essay I wrote in 2008 when this now popular idea was embryonic and ragged. I recently rewrote it to convey the core ideas, minus out-of-date details. This revisited essay appears in Tim Ferriss' new book, **Tools of Titans**. I believe the 1,000 True Fans concept will be useful to anyone making things, or making things happen. If you still want to read the much longer original 2008 essay, you can get it after the end of this version. — KK*

To be a successful creator you don't need millions. You don't need millions of dollars or millions of customers, millions of clients or millions of fans. To make a living as a craftsperson, photographer, musician, designer, author, animator, app maker, entrepreneur, or inventor you need only thousands of true fans.

A true fan is defined as a fan that will buy anything you produce. These diehard fans will drive 200 miles to see you sing; they will buy the hardback and paperback and audible versions of your book; they will purchase your next figurine sight unseen; they will pay for the "best-of" DVD version of your free youtube channel; they will come to your chef's table once a month. If you have roughly a thousand of true fans like this (also known as super fans), you can make a living — if you are content to make a living but not a fortune. <https://kk.org/thetechnium/1000-true-fans/>

■ 研究ファン、1,000人計画

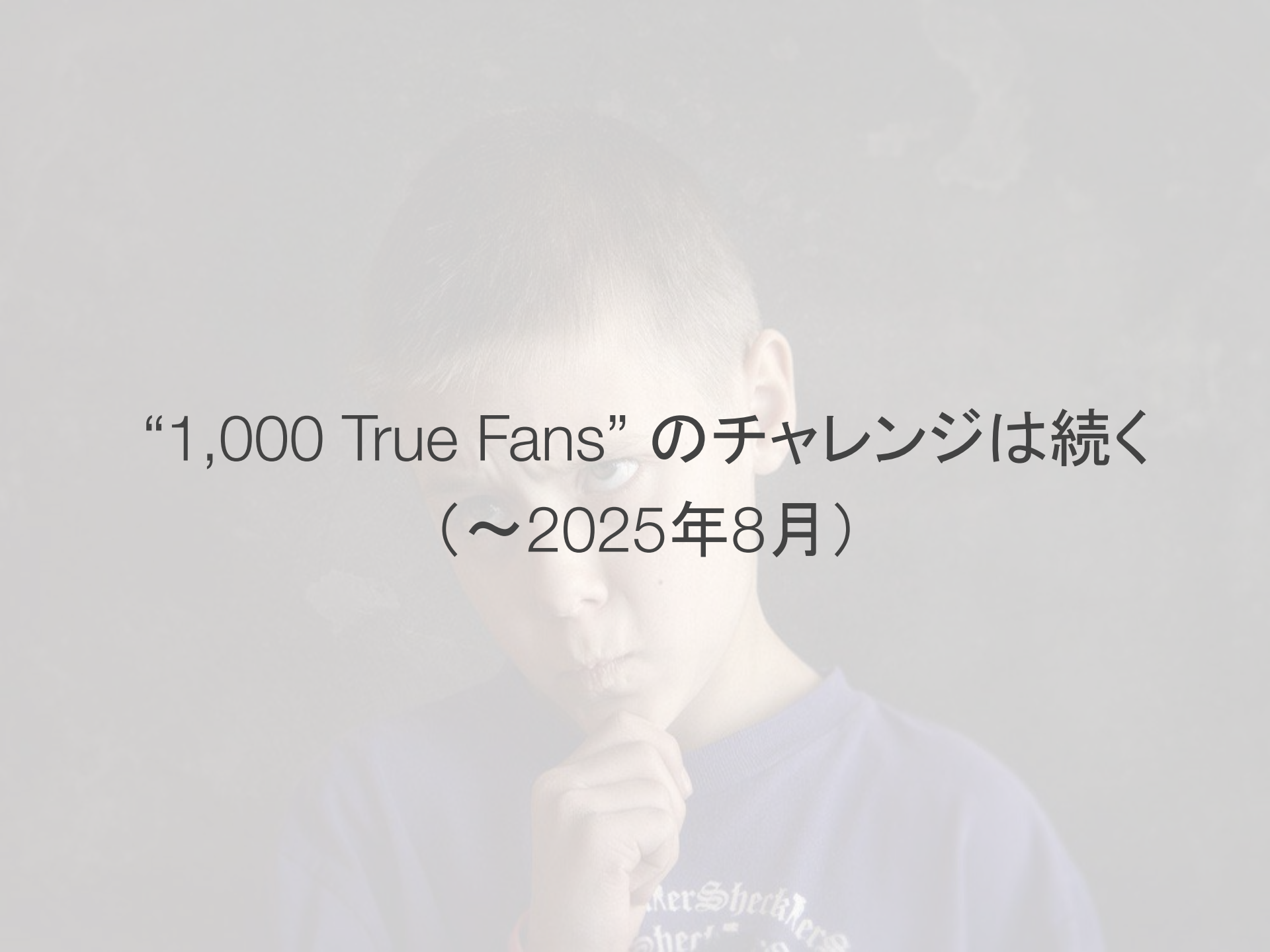


安定的な資金源の確保、研究Visionの深化、社会的インパクト創出を通じて、  
新しい研究スタイルを体現([こちらの記事](#)もご覧ください)

## ■ academist Prize 第4期 始動！

Challenge Title	Supporters
意識の発達が多様性を解明し、子どもたちが生きやすい社会を目指す！	45人
多様化する宗教観の研究を通して、多文化共生の在り方を考えたい	39人
「ケアする/される」から「ともに生きる」社会へ	42人
亡くなった方からの遺伝情報を、ご家族に届けたい	79人
個々人が意思をもって災害復興できる社会の実現を目指して	56人
寄付のマーケティング研究で社会課題解決を加速させる	133人
「美は世界を救う」を心理学で実証したい	107人

👉 公開後49日目で累計サポーター500件達成。1,000人を目指すチャレンジ実施中！

A young boy with short dark hair, wearing a blue t-shirt with the text 'MakerSheeklers' visible, is shown in a thoughtful pose with his hand on his chin. The background is a soft, out-of-focus grey. The text is overlaid on the image in a clean, black, sans-serif font.

“1,000 True Fans” のチャレンジは続く  
(～2025年8月)

academist Crowdfunding / Fanclub の認知拡大とともに  
大学・研究機関の知を活用したい企業からのお問合せが増加



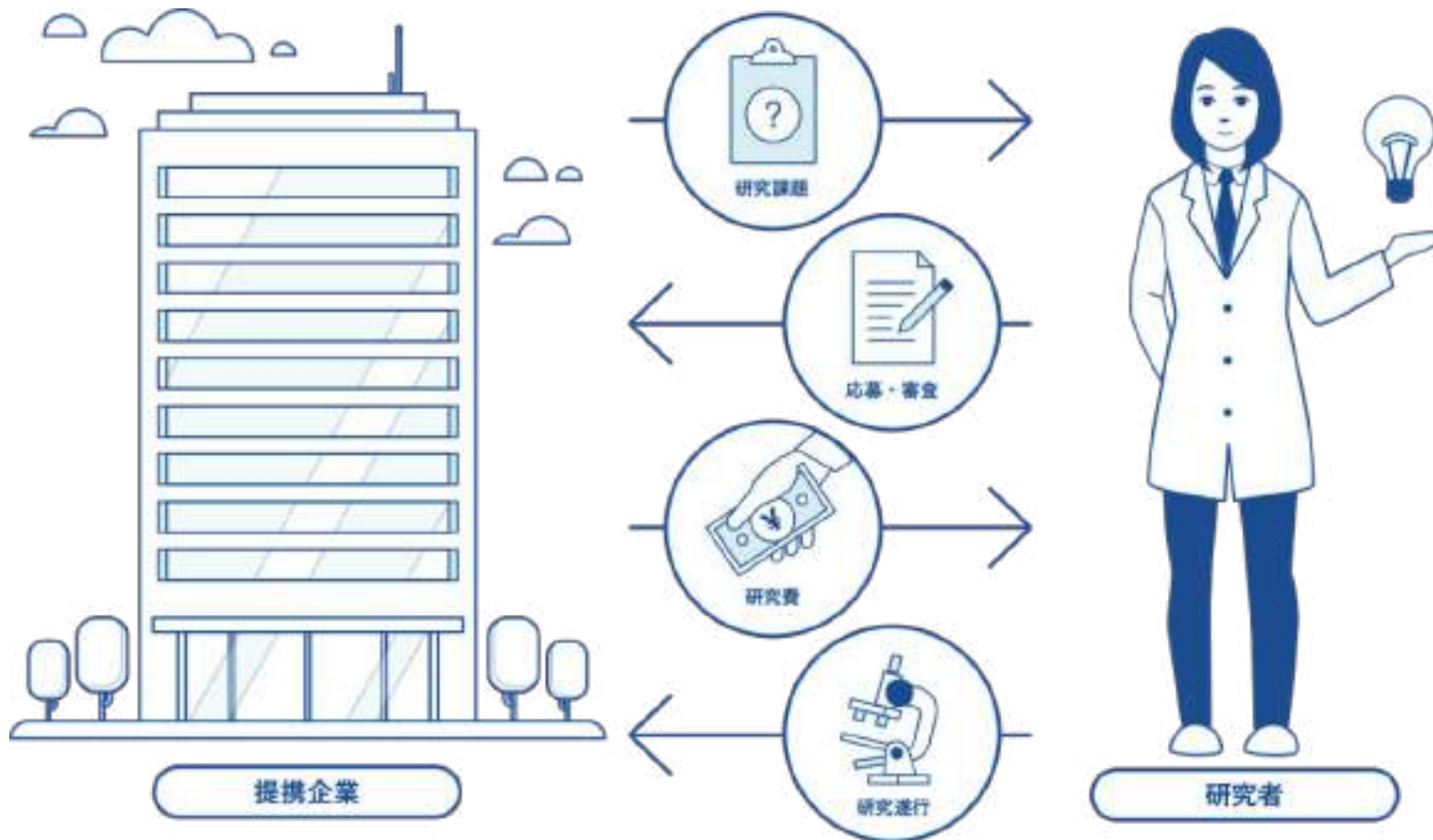
若手研究者と継続的に交流したい

研究シーズを発掘したい

特定領域の研究室と接点構築したい

👉 100社以上の企業とディスカッションを重ねた結果、企業は長期的視点で協働できる研究者 / 研究室との関係性を構築する機会を求めていることが明らかに

academist Grantでは、研究者ネットワークを構築したい法人様向けに、研究助成プログラムの設計・運営を支援し、長期的な企業価値向上に貢献いたします。



## 事例①:再生医療の未来を担う若手研究者募集!

- 研究者募集期間:2023/03/28 ~ 2023/05/10
- 募集対象者:修士以上40歳以下の研究者(企業研究者は除く)
- 応募条件

広く再生医療に関する基礎、ヒト臨床を伴わない応用研究に従事していること

- 対象分野:再生医療分野
- 採用件数:若干名
- 助成金額:本賞(50万円)、奨励賞(30万円)
- スケジュール

2023年4月3, 10, 17日:オンライン説明会

2023年5月10日(水)23:59:募集〆切

2023年6月末:1次選考結果発表(書類審査)

2023年9月中旬:2次選考結果発表(Web面談)

2024年1月中旬:アフターイベント



👉 全国各地の大学・研究機関から若手研究者5名が決定(採択率:22%)

## 事例②: 基礎研究で社会課題に挑む研究者募集!

- 研究者募集期間: 2023/11/28 ~ 2024/01/19
- 募集対象者: 大学・研究機関に所属する研究者、大学院生、大学生、独立系研究者
- 応募条件

社会課題の解決を見据えて基礎研究に従事していること

- 対象分野: 全ての研究分野
- 採用件数: 最大5名
- 助成金額: 総額500万円
- スケジュール

2023年11月28日(火): 研究者募集開始

2024年01月19日(金): 研究者募集〆切

2024年2月22日(木): 採択者決定

2024年3月下旬: 研究費振込(予定)



👉 全国各地の大学・研究機関から**研究者5名が決定**(採択率: 4.7%)

## 事例③:自動車産業のOIIに参画する研究者募集

- 研究者募集期間:2024/01/23 ~ 2024/02/22
- 募集対象者:大学・研究機関に所属する研究者・大学院生・大学生、民間企業やスタートアップに所属する研究者
- 応募条件:下記いずれかを解決するアイデアや技術を持っていること
  1. 完全無人化ラインを実現するための擬人化技術やアイデア
  2. 車体を研磨せずピカピカにする技術やアイデア
- 対象分野:全分野
- 採用件数:1~2件程度
- 助成金額:300~1,000万円 / 件
- スケジュール
  - 2024年1月23日(火):研究者募集開始
  - 2024年2月22日(木)23:59:募集×切
  - 2024年2月下旬:オンライン面談の実施
  - 2024年3月下旬:採択者発表



👉 全国各地の大学・研究機関から研究者5名との面談が実現

■ JST × academist - 異業種異分野交流会 (全3回: 12/3, 1/19, 2/15)

👉 研究者5名 + ステークホルダー5名の若手研究者交流会を開催



## 研究資金の多様化を実現する3つのサービスを運営

研究者と個人が支援でつながる  
**academist Crowdfunding**

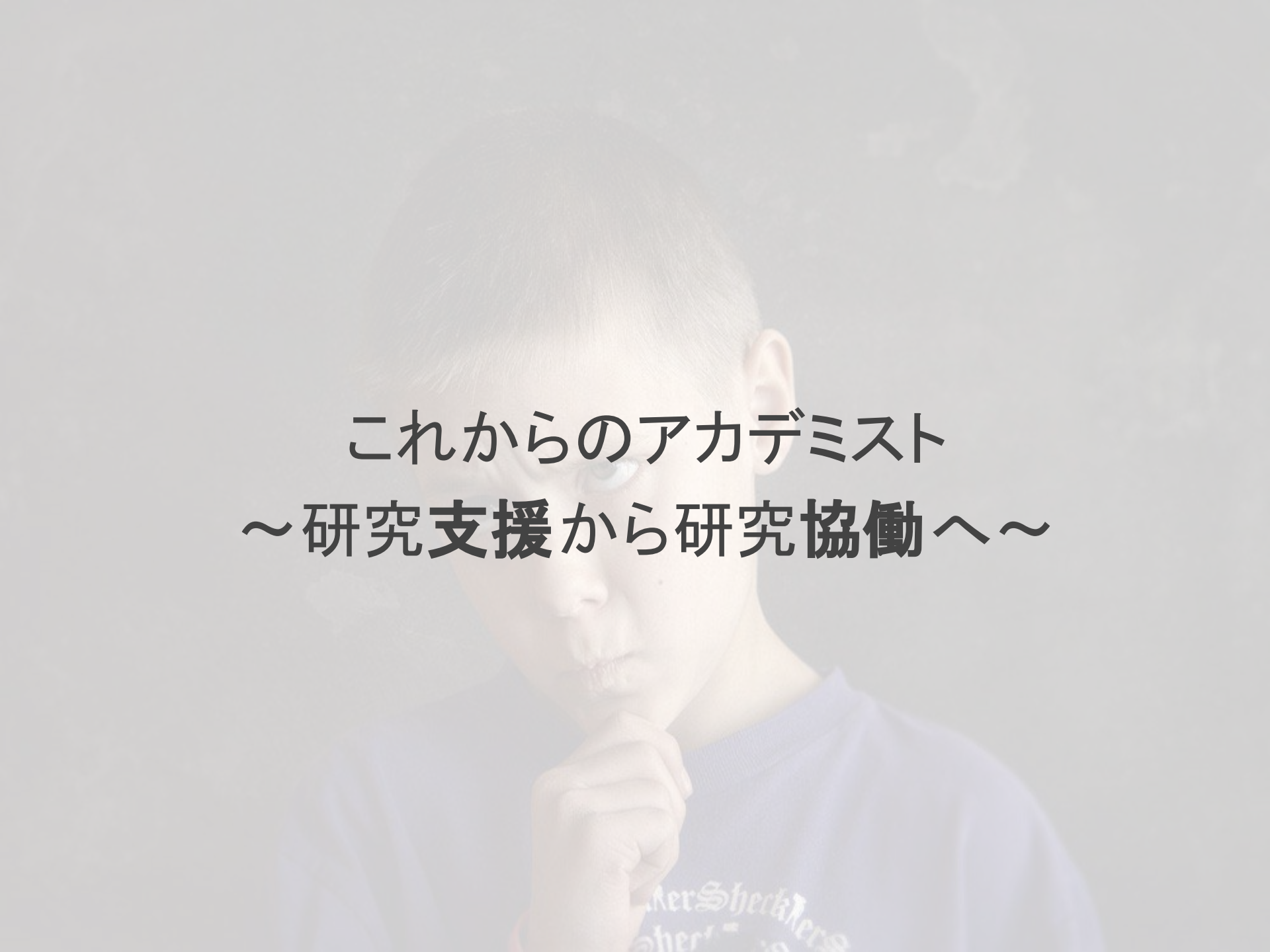


研究者と個人が継続支援でつながる  
**academist Fanclub**



研究者と企業が支援でつながる  
**academist Grant**



A young boy with short dark hair is shown from the chest up, looking down with a thoughtful expression. His hand is resting on his chin. He is wearing a blue t-shirt with some text on it, which is partially obscured by the main text. The background is a plain, light-colored wall. The overall image has a soft, slightly faded appearance.

これからのアカデミスト  
～研究支援から研究協働へ～

## ■ 現状: 公的資金のみで大学・研究機関を発展させることは困難



大学の誕生  
(都市ネットワーク型)

12 - 15世紀

Closed academia



印刷革命

大学の第一の死

16 - 18世紀

1st Open academia



大学の二度目の誕生  
(国民国家型)

19 - 20世紀

Closed academia



情報革命

大学の第二の死?

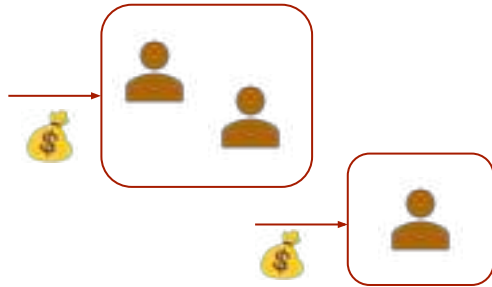
21 - 22 世紀

2nd Open academia

参考: 吉見俊哉『大学とは何か』(岩波新書)

研究者と多様なステークホルダー(国+企業、財団、個人等)が協働する  
新しいアカデミアのVision(Open academia)を描き、社会実装することが必要

## ■ Closed academia と Open academia

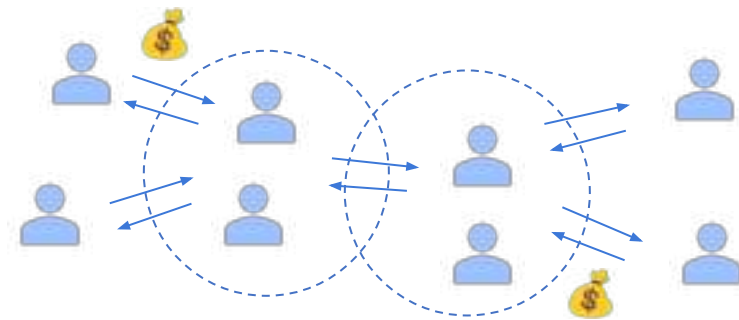


“Closed academia”

- 資金源は主として公的資金

それにより...

- 研究ビジョンは**国**にアピールされる
- 研究アウトプットは主に同分野の研究者と共有される
- 市民(納税者)と研究者には距離がある



“Open academia”

- 多様な資金源で研究が支えられている

それにより...

- 研究ビジョンは**国、企業、財団、個人**にアピールされる
- 研究活動や研究のアウトプット・アウトカムは広く社会と共有される
- 市民(納税者)と研究者に交流が生まれる

## ■ Open academia 実現までのマイルストーン



### Phase.1: これまでの10年

“Open academia”を軸に研究  
Visionを起点とした資金循環の  
仕組みを構築

👉 アカデミスト社が体現

### Phase.2: これからのX年

アカデミスト”的”組織を47都道  
府県で立ち上げまたは既存組  
織との連携体制を構築

👉 パートナーシップで体現

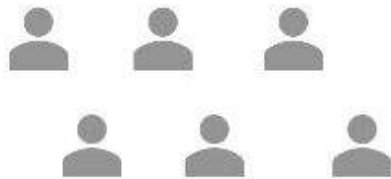
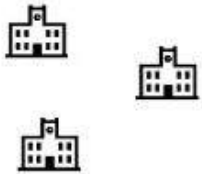
### Phase.3: Vision実現

全国組織のコミュニティ化を通じ  
て研究者10,000人が主導す  
る”Open academia”を実現

👉 Re:Rel が体現

## ■ 新たな職種「Research Relation (Re:Rel)」の活性化へ

Stakeholders



Researcher



Research Relations  
“Re:Rel”



Re:Rel のミッション

研究者と多様なステークホルダーとの協働を促進し、研究者のVisionを形にする

- 研究者のVisionの明確化・言語化
- Vision達成のための協働を実現
- 持続可能な資金循環を創出

(参考) [Re:Rel\(リレル\) — 研究者のVisionを実現する、新たな職種の提案](#)

## ■ Open academia Summit (2024年12月20日)

“Open academia” 実現のヒントを探り、同じVisionを持つ参加者どうしの協働を促進



- academist Prize for DeepTech (2025年2月4日～)

基礎研究で、  
世界を変える。

研究者募集中

**academist Prize for DeepTech**

賞金 1,000万円 募集期間 11月6日(水)～12月18日(水)

説明会に参加 エントリー

(参考)[academist Prize for DeepTech](#)

## ■ academist Prize for DeepTech (2025年2月4日～)

基礎研究の社会実装を目指す**若手研究者10名**による年間プロジェクト (Supported by 東京都)



目標金額を達成した場合は QFにより1,000万円を配分

メンターの支援を受けながら社会実装の解像度を向上

# Team academist - 絶賛拡大中！



## Core Members



+400  
Researchers

+ Secondary Job / Internship Members: 10 Members



## Shareholders



+ Individual Shareholders: 11 Members

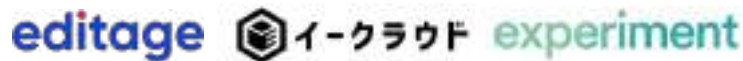
## Crowdfunding Partners



academist Prize / Grant Supporters + Individual Supporters: 20,000 supporters



## Business partnership



**会社名** アカデミスト株式会社

**設立年月日** 2013年4月17日

**資本金** 8,492万円(資本準備金含む)

**事業内容**

- 1) 学術系クラウドファンディング「academist」の運営
- 2) 学術系メディア「academist Journal」の運営
- 3) 産学協働推進支援サービス「academist Grant」の運営
- 4) オンラインイベント事業の運営

**主要取引先** 国立大学法人、国立研究開発法人、独立行政法人など

**代表取締役** 柴藤亮介

**所在地** 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-10-2 山崎ビル202

**連絡先** [info@academist.jp](mailto:info@academist.jp)



## 代表取締役CEO 柴藤亮介

アカデミスト株式会社代表取締役CEO。首都大学東京大学院博士後期課程単位取得退学。大学院在籍時に研究室が閉鎖的であることに問題を感じ、さまざまな分野の大学院生が集う交流会を企画。そのなかで、専門知識がなくても研究や研究者の魅力に感動できると確信し、2014年4月に研究者が研究アイデアを発信することで研究費を獲得できるクラウドファンディングサイト「academist」を公開。「開かれた学術業界を実現し、未来社会の創造に貢献する。」をVisionに掲げ、研究者と個人、研究者と法人をつなぐ事業を推進する。